

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	環境行動研究小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会 (計画基礎運営委員会)	主 査 名：林田 大作 就任年月：2020 年 4 月 委員長名：小野田 泰明 主 査 名：日色 真帆
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	初年度：「居心地の良い暮らし研究 WG」の立ち上げ、環境行動研究関連の文献・情報源の整理とデータベース作成 2 年度：「環境行動のワークブック研究 WG」の立ち上げ、シンポジウムまたは合同研究会の開催、研究成果の公表	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：林田大作 (大阪工業大学) 幹事：小松尚 (名古屋大学)、藤田大輔 (福井工業大学)、 委員：橋弘志 (実践女子大学)、水村容子 (東洋大学)、岩佐明彦 (法政大学)、伊藤俊介 (東京電機大学)、山田あすか (東京電機大学)、垣野義典 (東京理科大学)、小林健治 (摂南大学)、三浦研 (京都大学)、石井敏 (東北工業大学)、巖爽 (宮城学院女子大学)、熊澤貴之 (茨城大学)、前田薫子 (佐藤総合計画)	
設置 WG (WG 名：目的)	居心地の良い暮らし研究 WG：「北欧流「ふつう」暮らしからよみとく環境デザイン (2018 年)」「まちの居場所 ささえる／まもる／そだてる／つなぐ (2019 年)」の成果に立脚し、新たな課題の検討、現在および未来の建築計画・設計に有用な知見のまとめ	
2020 年度予算	135,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s17/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	公開研究会 環境行動研究からみた近年の「まちの居場所」 参加者数 68 名 資料名：環境行動研究からみた近年の「まちの居場所」
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	従来の建築計画学だけでは予測・対応できない人びとの環境構築行動、社会システムと人びとの暮らしの実態・実践・予測を含む理論の構築、建築計画・設計に有用な知見のまとめ、情報発信。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 「居心地の良い暮らし研究 WG」を立ち上げ、文献・情報源の整理を行った。 2. 「環境行動のワークブック研究 WG」を 1 年繰り上げて立ち上げた。
委員会活動の問題点 ・課題	1. コロナ禍により対面での委員会活動を中止し、オンラインを活用した。 2. 「新しい生活様式」と生活の質 (QoL) を「居心地」という視点から考察する手法を開発する必要がある。